



滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

令和4年第31週（8/1～8/7）【概要版】

令和4(2022)年8月12日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- 腸管出血性大腸菌感染症は、3週連続で2例以上の報告があり、8月3日に令和4年度2回目の「腸管出血性大腸菌感染症多発警報」が発令されました。調理前の手洗いとともに、食品の取り扱いにはご注意ください。
- 手足口病は、県内で増加傾向にあり、特に東近江保健所管内では2週連続で警報基準を超過しています。
- RSウイルスは、「例年より非常に多く」報告されており、増加傾向にあります。秋から冬に流行するとされていましたが、昨年と同様に、夏にかけて増加が見られています。
- 梅毒は、「例年より非常に多く」報告され、過去最多ペースで増加しています。約8割が20～40歳代で、男性が多い傾向にあります。主に性的な接触により感染する感染症です。予防にはコンドームが有用ですが、完全に予防できない可能性があります。皮膚や粘膜の異常など気になる症状があった場合は、性的な接触を控え、早めに医療機関を受診してください。

2. 報告数が多かった小児科定点把握疾患（五類感染症）<sup>i</sup>

(1) 滋賀県

疾病名	滋賀県			保健所別 (iv)									
	2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
手足口病	1.50	2.92	3.22				↑	↑	多	警			
RSウイルス感染症	2.22	2.64	2.72		○	○		多		多		↑	
感染性胃腸炎	3.44	3.11	1.81					多		多		多	↑
ヘルパンギーナ	0.42	0.58	0.72				↑	多	↑			多	多
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.22	0.39	0.39					多			↑	多	多

(2) 前週の全国、滋賀県および近隣府県の状況（下線：滋賀県よりも多い）

疾患	全国	滋賀県	大阪府	京都府	福井県	岐阜県	三重県
手足口病	<u>3.01</u>	2.92	0.68	0.65	<u>4.52</u>	1.11	1.33
RSウイルス感染症	2.35	2.64	<u>6.39</u>	<u>4.17</u>	1.09	<u>5.64</u>	<u>11.19</u>
感染性胃腸炎	2.73	3.11	2.86	2.21	<u>4.57</u>	1.38	<u>3.51</u>
ヘルパンギーナ	<u>0.75</u>	0.58	0.23	0.11	0.3	0.11	<u>0.84</u>
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.28	0.39	0.26	<u>0.55</u>	0.35	0.08	0.16



3. 全数把握疾患（滋賀県、今週診断例）

類型	疾病名	滋賀県					保健所別						
		2週前	1週前	今週	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
二類	結核	2	7	1						1			
三類	腸管出血性大腸菌感染症	3	4	2	○		2						
五類	アメーバ赤痢	0	0	1	○		1						
五類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	0	1	1	○		1						
五類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	1	○		1						
五類	水痘(入院例)	1	0	1	○			1					
五類	梅毒	1	2	2	○	○						2	

i. 定点把握疾患：人口および医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点（医療機関）で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。  
 ii. 警：警報発令、注：注意報発令  
 iii. 今週の値が過去5年の同時期（全数把握疾患は同時期の累積報告数）の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」を標記（定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均を利用）  
 iv. 「警：警報開始基準を超過」、「注：注意報基準を超過」、「多：今週の滋賀県の値よりも多い」、「↑：前週比増加」（「警報」、「注意報」、「多」、「↑」の順に優先して標記）

滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

令和4年第31週（8/1～8/7）【詳細版】

令和4(2022)年8月12日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

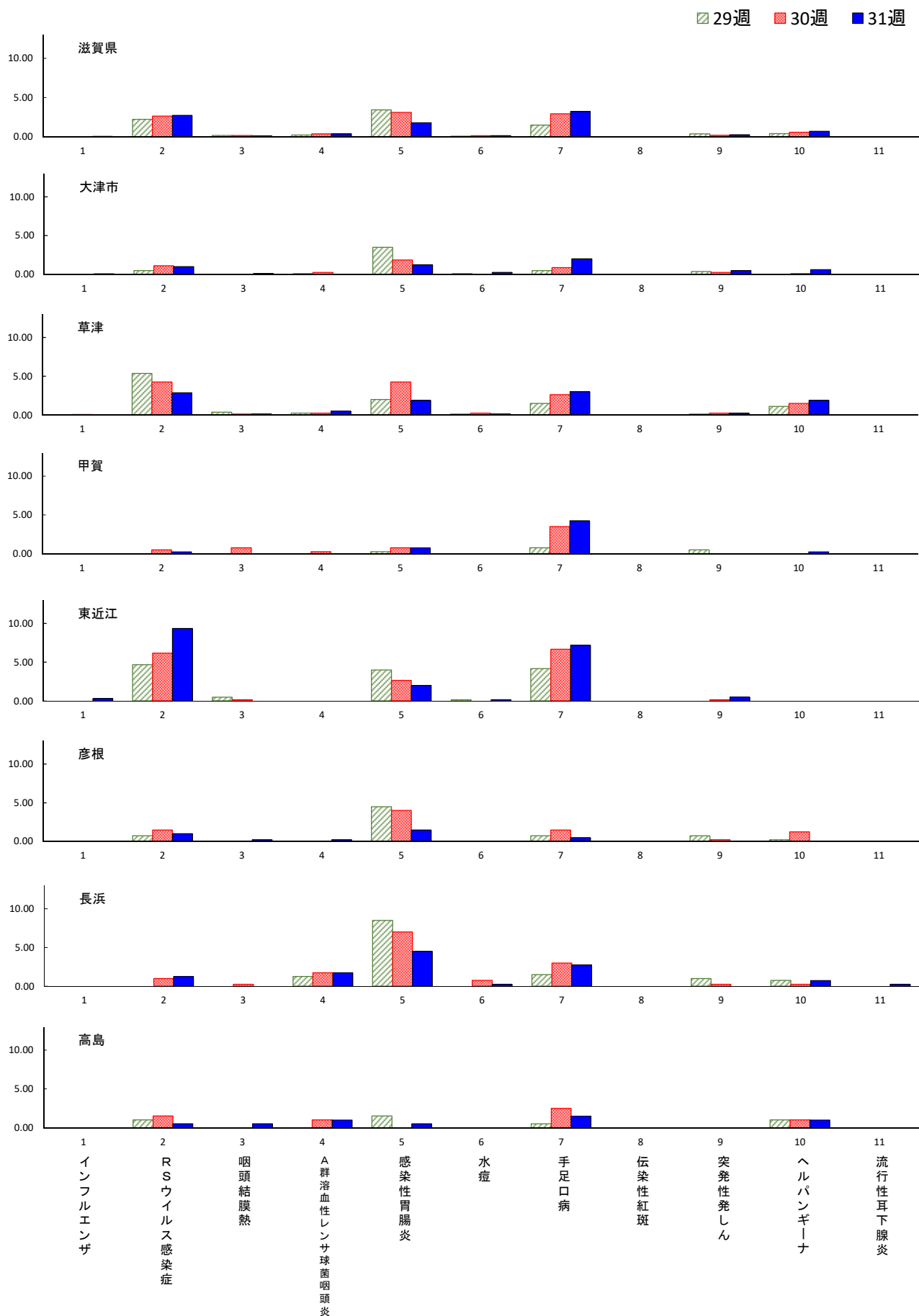
- (1) 腸管出血性大腸菌感染症は、3週連続で2例以上の報告があり、8月3日に令和4年度2回目の「腸管出血性大腸菌感染症多発警報」が発令されました。調理前の手洗いとともに、食品の取り扱いにはご注意ください。
- (2) 手足口病は、県内で増加傾向にあり、特に東近江保健所管内では2週連続で警報基準を超過しています。
- (3) RSウイルスは、「例年より非常に多く」報告されており、増加傾向にあります。秋から冬に流行するとされていましたが、昨年と同様に、夏にかけて増加が見られています。
- (4) 梅毒は、「例年より非常に多く」報告され、過去最多ペースで増加しています。約8割が20～40歳代で、男性が多い傾向にあります。主に性的な接触により感染する感染症です。予防にはコンドームが有用ですが、完全に予防できない可能性があります。皮膚や粘膜の異常など気になる症状があった場合は、性的な接触を控え、早めに医療機関を受診してください。

2. 定点把握疾患（五類感染症）の定点当たり報告数（全国は前週）の値<sup>i, ii, iii, iv</sup>

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県					保健所別 <sup>(iv)</sup>							基準値			
		2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	全国 (前週) (iv)	警報 開始	警報 終息
インフルエンザ (定点数:60)	インフルエンザ	0	0.02	0.07		○	0.08	0	0	0.30	0	0	0	0.03	30	10	10
	RSウイルス感染症	2.22	2.64	2.72		○	1.00	2.88	0.25	9.33	1.00	1.25	0.50	2.35	—	—	—
	咽頭結膜熱	0.17	0.17	0.11			0.13	0.13	0	0	0.25	0	0.50	0.17	3	1	—
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	0.22	0.39	0.39			0	0.50	0	0	0.25	1.75	1.00	0.28	8	4	—
	感染性胃腸炎	3.44	3.11	1.81			1.25	1.88	0.75	2.00	1.50	4.50	0.50	2.73	20	12	—
	水痘	0.08	0.14	0.14			0.25	0.13	0	0.17	0	0.25	0	0.07	2	1	1
	手足口病	1.50	2.92	3.22			2.00	3.00	4.25	2.17	0.50	2.75	1.50	3.01	5	2	—
	伝染性紅斑	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0.02	2	1	—
	突発性発しん	0.36	0.19	0.25			0.50	0.25	0	0.50	0	0	0	0.28	—	—	—
ヘルパンギーナ	0.42	0.58	0.72			0.63	1.88	0.25	0	0	0.75	1.00	0.75	6	2	—	
流行性耳下腺炎	0	0	0.03			0	0	0	0	0	0.25	0	0.02	6	2	3	
眼科 (定点数:8)	急性出血性結膜炎	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	1	0.1	—	
	流行性角結膜炎	0.25	0.13	0			0	0	0	0	0	0	0	0.22	8	4	—
基幹 (定点数:7)	細菌性髄膜炎	0	0.14	0			0	0	0	0	0	0	0	0.01	—	—	—
	無菌性髄膜炎	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0.03	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0.01	—	—	—
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—
インフルエンザ (入院例に限る)	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0.00	—	—	—	

- i. 定点把握疾患：人口および医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点（医療機関）で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。
- ii. 定点当たり報告数が「警報開始基準値」を超える全ての保健所の管内人口の合計が、県人口全体の30%を超えた場合に滋賀県全域に警報を発令（「警」）します。また、定点当たり報告数が「注意報基準値」を超えた場合に注意報（「注」）を発令します。
- iii. 今週の値が過去5年の同時期（全数把握疾患は同時期の累積報告数）の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差（SD）」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」を標記（定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均を利用）
- iv. **赤字斜字**：警報開始基準を超過、**紫字斜字**：注意報基準を超過

### 3. 定点把握疾患（五類感染症）の保健所別推移（滋賀県、今週と過去2週）



### 4. 定点把握疾患（五類感染症）の年齢階級別報告数（滋賀県、今週）

インフルエンザ定点 (60医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
インフルエンザ	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-
大津市保健所	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
草津保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
甲賀保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東近江保健所	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
彦根保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長浜保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高島保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

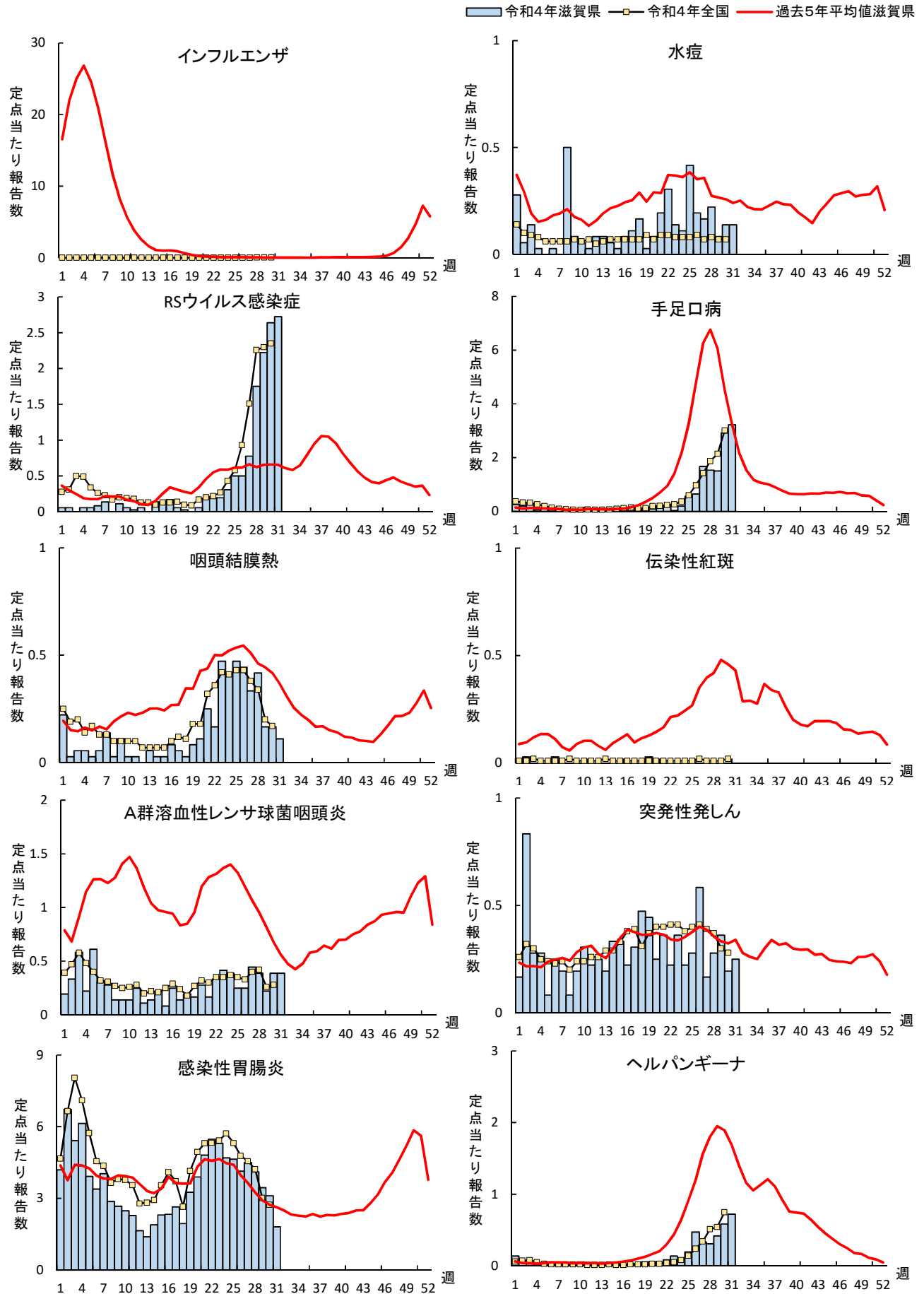
小児科定点 (36医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	98	7	14	37	27	8	2	3	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱 (プール熱)	4	-	-	1	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	14	-	-	1	3	4	2	1	1	-	-	1	1	-	-
感染性胃腸炎	65	-	3	9	16	7	3	5	6	6	3	3	1	-	3
水痘	5	-	-	2	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-
手足口病	116	-	10	38	32	22	5	5	1	2	-	-	1	-	-
伝染性紅斑 (リンゴ病)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	9	-	3	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	26	-	-	7	9	5	4	-	-	-	-	-	-	-	1
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-

眼科定点 (8医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

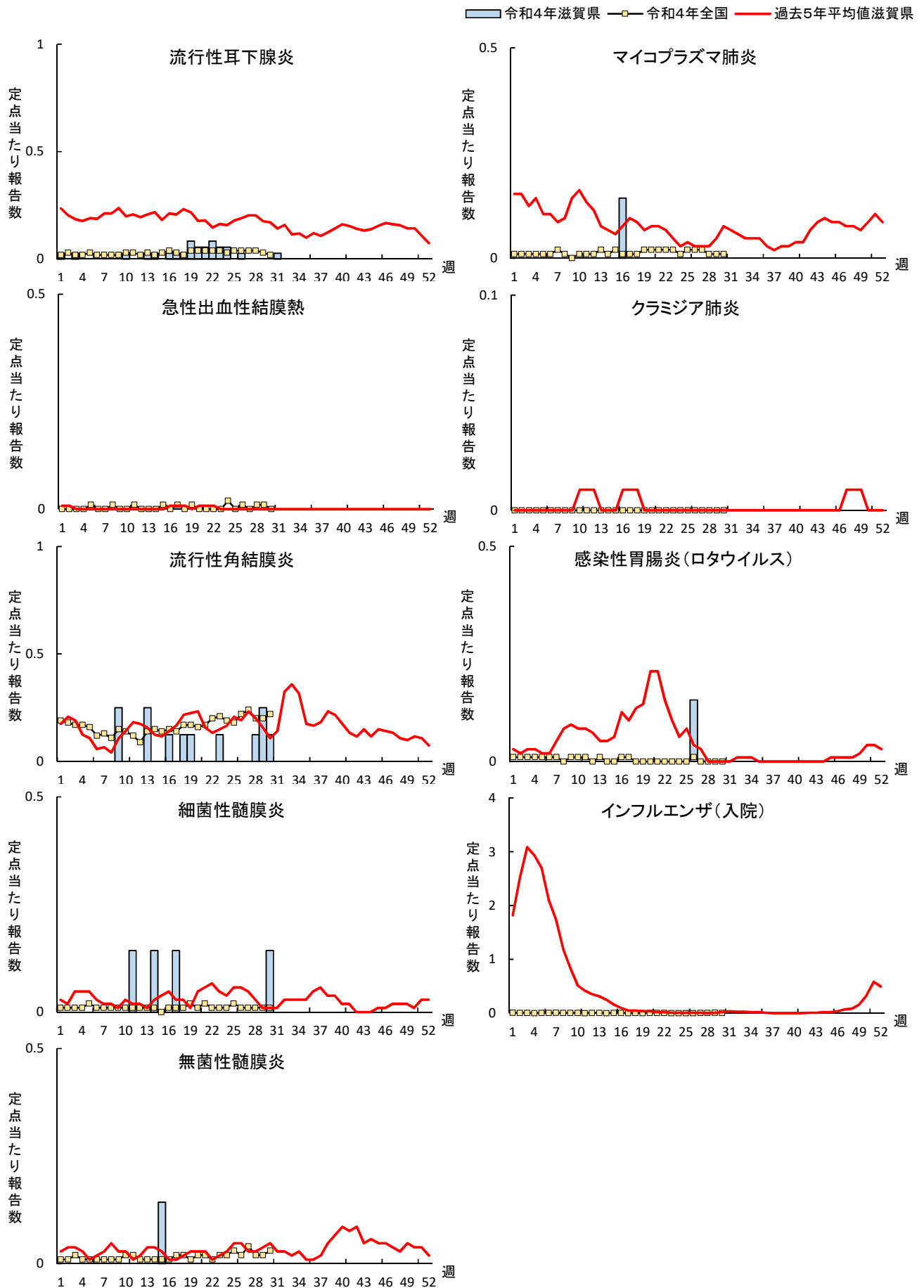
基幹定点 (7医療機関)	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

「-」: 報告なし

### 5-1. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は前週まで掲載）



## 5-2. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は前週まで掲載）



6. 全数把握疾患 詳細情報（今週報告例）<sup>v</sup>

類型	疾患	診断週	保健所	年齢	性別	病型等	推定感染地	病原体等
二類	結核	30	東近江	80歳代	男	肺結核	県内	-
	結核	31	東近江	80歳代	女	肺結核	-	-
三類	腸管出血性大腸菌感染症	31	草津	20歳代	男	-	県内	O157 VT2
	腸管出血性大腸菌感染症	31	草津	10歳代	女	-	県外	O103 VT1
五類	アメーバ赤痢	31	大津市	60歳代	男	腸管アメーバ症	県内	-
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	30	大津市	70歳代	男	-	県内	-
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	31	大津市	80歳代	女	-	県内	Enterobacter cloacae
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	31	大津市	40歳代	女	-	県内	A群
	水痘(入院例)	31	草津	70歳代	男	検査診断例	県内	-
	梅毒	30	草津	40歳代	男	早期顕症梅毒 I 期	-	-
梅毒	20	彦根	20歳代	男	無症候(無症状病原体保有者)	県内	-	
梅毒	31	長浜	30歳代	男	早期顕症梅毒 I 期	県内	-	
梅毒	31	長浜	20歳代	男	早期顕症梅毒 I 期	県内	-	

v. 感染症発生動向調査事業において、一～四類および五類感染症の全数報告対象の感染症が、診断した医師から最寄りの保健所へ届出されています。

## 今週の注目すべき感染症

## ■ 梅毒

## (1) 梅毒に関する Q&amp;A(厚生労働省)

[https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/ganda2.html](https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/ganda2.html)

## (2) 梅毒とは(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ha/syphilis/392-encyclopedia/465-syphilis-info.html>

## (3) 梅毒 IASR Vol.41 2020 年 1 月号(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/syphilis-m-3/syphilis-iasrtpc/9342-479t.html>

## ■ 新型コロナウイルス感染症

## (1) 新型コロナウイルス感染症に関する滋賀県の状況について(滋賀県)

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryouhukushi/yakuzi/309252.html>

## (2) 現在の感染拡大防止対策について(滋賀県)

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/bousai/sougo/313693.html>

## (3) 新型コロナウイルス感染症にかかる滋賀県内の感染動向等(日報・週報)(滋賀県感染症対策課)

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryouhukushi/yakuzi/314006.html>

## ■ サル痘

## (1) 複数国で報告されているサル痘について(第2報)(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/monkeypox-m/2596-cepr/11266-monkeypox-ra-712.html>

## (2) サル痘について(厚生労働省)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/monkeypox\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/monkeypox_00001.html)

## (3) サル痘とは(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/408-monkeypox-intro.html>

## (4) サル痘に関する情報提供及び協力依頼について

<https://www.mhlw.go.jp/content/000945942.pdf>

## 7. 全数把握疾患の累積患者報告数 保健所別（令和4年）<sup>vi, vii</sup>

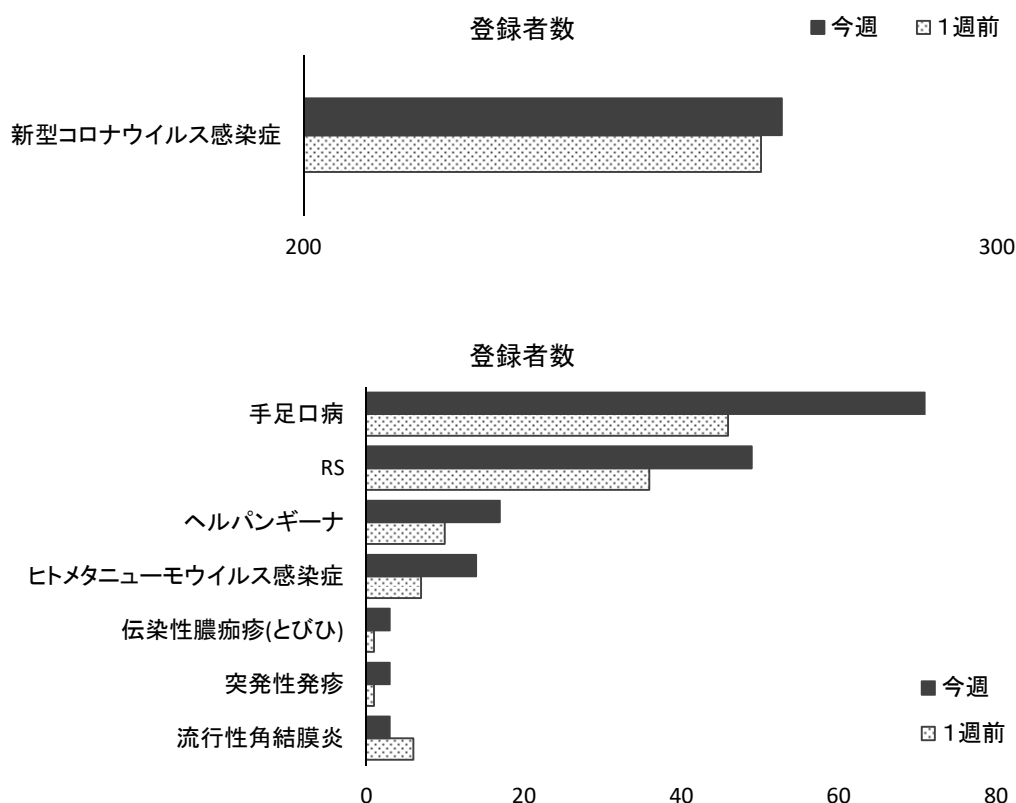
疾患	滋賀県			保健所別累積報告数							全国	昨年累積報告数	
	例年より多い	例年より非常に多い	累積報告数	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	(前週)	滋賀県	全国
二類 結核			101 7.16	41 11.97	20 5.75	8 5.63	12 5.30	15 9.71	5 3.33	0 0.00	8409 6.70	169 11.95	15799 12.52
三類 腸管出血性大腸菌感染症	○		26 1.84	8 2.34	8 2.30	4 2.81	3 1.33	0 0.00	2 1.33	1 2.18	1446 1.15	77 5.45	3220 2.55
四類 レジオネラ症	○		21 1.49	4 1.17	1 0.29	2 1.41	2 0.88	8 5.18	4 2.66	0 0.00	1069 0.85	37 2.62	2112 1.67
五類 アメーバ赤痢	○		4 0.28	2 0.58	1 0.29	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.67	0 0.00	299 0.24	5 0.35	529 0.42
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	○		11 0.78	3 0.88	7 2.01	0 0.00	1 0.44	0 0.00	0 0.00	0 0.00	941 0.75	25 1.77	2038 1.62
クロイツフェルト・ヤコブ病			1 0.07	0 0.00	1 0.29	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	99 0.08	1 0.07	178 0.14
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	○		10 0.71	3 0.88	5 1.44	0 0.00	1 0.44	0 0.00	1 0.67	0 0.00	433 0.35	12 0.85	646 0.51
後天性免疫不全症候群			3 0.21	0 0.00	3 0.86	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	507 0.40	8 0.57	1047 0.83
侵襲性インフルエンザ菌感染症			1 0.07	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.65	0 0.00	0 0.00	103 0.08	1 0.07	194 0.15
侵襲性肺炎球菌感染症			11 0.78	3 0.88	3 0.86	1 0.70	1 0.44	0 0.00	3 2.00	0 0.00	711 0.57	16 1.13	1388 1.10
水痘(入院例)	○		4 0.28	1 0.29	1 0.29	0 0.00	0 0.00	1 0.65	1 0.67	0 0.00	190 0.15	11 0.78	298 0.24
梅毒	○	○	37 2.62	9 2.63	14 4.03	1 0.70	7 3.09	1 0.65	5 3.33	0 0.00	6716 5.35	46 3.25	7873 6.24
播種性クリプトコックス症	○		1 0.07	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.44	0 0.00	0 0.00	0 0.00	86 0.07	0 0.00	159 0.13
百日咳			6 0.43	3 0.88	0 0.00	0 0.00	3 1.33	0 0.00	0 0.00	0 0.00	291 0.23	8 0.57	746 0.59

- vi. 今年第1週以降に診断された感染症の累積報告数を全国、滋賀県および保健所別に示しています。上段に「今年累積報告数」、下段に「人口10万人当たりの累積報告数」を示しています。
- vii. 今年と過去5年の同時期の累積報告数の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、または「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記



## 【参考】今週の学校欠席者情報収集システム（保育園サーベイランス含む）概況（滋賀県）

滋賀県では、園および学校等により、感染症による欠席者等の情報を学校等欠席者・感染症情報収集システム([https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view\\_all.php](https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view_all.php))へ毎日入力いただいています。入力いただいたデータを、本感染症週報と同期間について、集計して掲載しています。



図：学校欠席者情報収集システム（保育園サーベイランス含む）において登録数の多い疾患

## 【全国情報】国立感染症研究所 感染症疫学センターHPに掲載されています。

感染症発生動向調査 週報(IDWR)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>

病原微生物検出情報(IASR)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr.html>

インフルエンザ様疾患発生報告(学校欠席者数)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/flu-flulike.html>

## 【届出対象疾患】厚生労働省 HPに掲載されています。

感染症法に基づく医師の届出のお願い

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html)

滋賀県感染症発生動向調査週報は、感染症法に基づいて県内の医師、定点医療機関および県内各保健所より報告されたデータを用いて、滋賀県衛生科学センター健康科学情報係において作成しています。

本情報は滋賀県感染症情報センターホームページに掲載しております。

滋賀県感染症情報センターHP:

<https://www.pref.shiga.lg.jp/eiseikagaku/kansensyou/>



イラストは滋賀県健康づくりキャラクター「しがのハグ&クミ」